

協賛で、応急手当講習の受講機会を拡大する
結果として、初動対応を説明できる組織を増やす

ドローン応急手当講習 協賛パートナー募集

2026年1月24日



DAIYASERVICE

ユースケースの拡大

点検・測量・災害対応・農薬散布など、
産業用途での活用が急速に日常化しています

現場従事者の増加

機体数と操縦者の増加に伴い、
安全教育需要が加速度的に拡大中

安全・品質が受注条件に

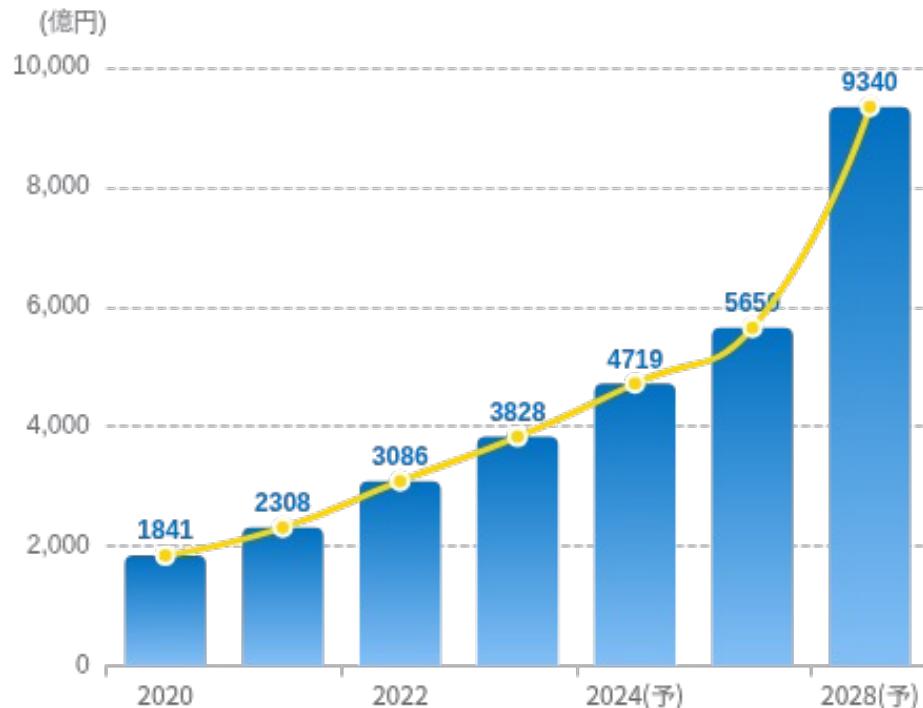
大手企業の案件では、操縦技量だけでなく
「緊急時の体制証明」が必須要件になりつつ
あります

2023年度 事故報告件数

64件 (報告ベース)

※安全投資の優先度が劇的に上昇中

国内ドローンビジネス市場規模の推移と予測



✓ 市場規模は右肩上がり

2024年度には3,800億円規模、2028年には9,000億円超へ

✓ サービス市場が牽引

機体販売だけでなく、運用・サービス分野が市場の主役に

救急到着までの「空白」

全国平均 **9~10分**

山間部・離島では**30分以上**かかる現実

△ 事故は「起きる」前提

米国ドローン関連事故推計

年間 30,000件

※米国救急医学会等のデータに基づく

2022年12月 航空法改正

操縦者の「救護義務」が 法的に明確化

報告要領にも「止血等の応急処置」が明記。
未対応は法的責任を問われます。

国内でも深刻な事故が現実に発生しています

2014年11月

国際マラソンで空撮ドローン墜落

参加ランナー1名が負傷する事態に発展。イベント運営における安全管理の欠如が露呈。

2017年02月

工事現場での衝突事故

顔面を縫う大けが。労働災害としての責任問題に加え、工事進行の遅延リスクも顕在化。

2017年11月

催事場での菓子まきドローン落下

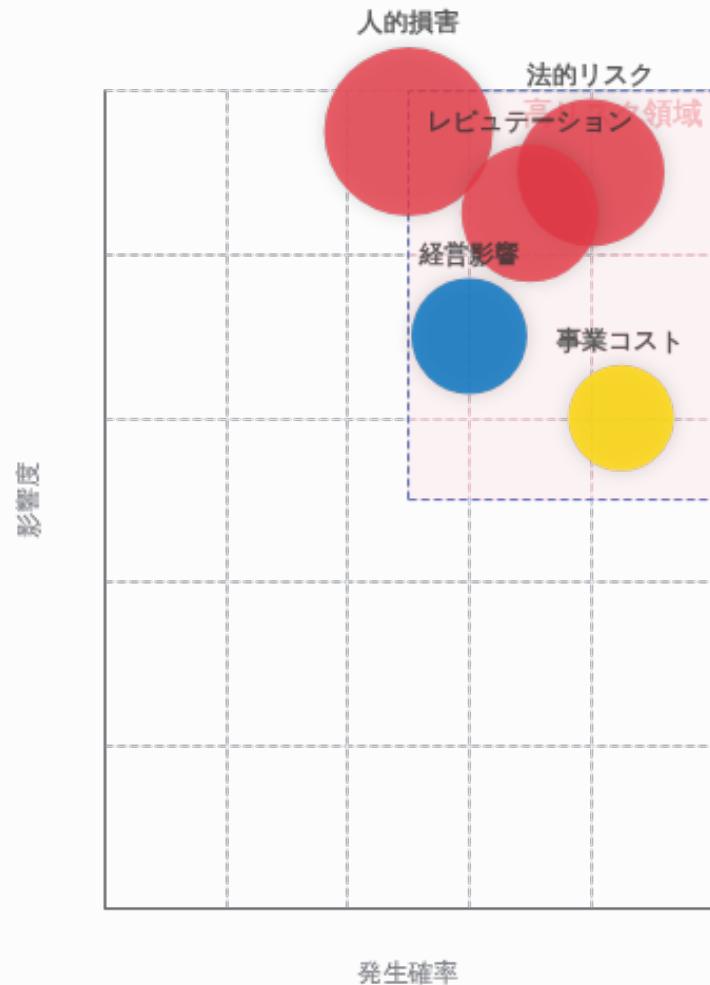
子供を含む男女6名が負傷。多くの観衆がいる中での事故は社会的信用の失墜に直結。

2020年06月

警視庁機動隊員の重傷事故

プロの方でさえ、手指に重傷を負うリスク。「技術があっても事故は起きる」ことを証明。

リスクの影響度マトリクス



※縦軸：経営への影響度 / 横軸：発生・遭遇確率

法的リスク

救護義務不履行による行政指導・書類送検。
報告要領違反によるライセンスへの影響。

レピュテーション

SNSでの炎上、ニュース報道によるブランド毀損。
「安全軽視企業」としてのレッテル。

人的損害の拡大

初動不備による重症化、後遺症。
補償額の増大と遺族・被害者対応の長期化。

事業コスト

事故対応に伴う業務停止、対外説明、再教育、
保険料の高騰。再発防止策策定までの機会損失。

経営への影響

大手企業の取引審査・入札参加資格における
安全管理体制評価での減点・失格。

『発生確率 × 影響度』を
下げる投資が必要

教育による
リスクコントロール

解決策

ドローン現場に最適化した応急手当



標準化された初動手順

止血・気道管理・ショック対応など、医学的根拠に基づいた手順をドローン現場向けに体系化。迷いのない初動を可能にします。

01



現場特化の応急手当

プロペラによる切創や機体落下による外傷など、ドローン現場で起こり得る特有の事故に対応するファーストエイドの手法を提供します。



事前学習の推奨（任意）

実技講習の効果を最大化するため、事前のオンライン学習を推奨しています。予備知識を持った状態で、効率的に手技を習得できます。

ドローン特化
ソリューション

講習 + キット

02

04

安全体制の「証明」

受講履歴の管理と修了証の発行により、クライアントや発注者に対して「安全管理体制」を対外的に証明できます。

6 年 +10ヶ月

開発・提供実績

ドローン産業の黎明期から
「空の安全」と「人の命」に
向き合い続けてきた
唯一無二の知見。

■ ドローン×救急のパイオニア



実務家による講師陣

机上の空論ではなく、ドローン運用現場と救急医療、両面の実務に精通したプロフェッショナルが直接指導します。



ハイブリッド提供体制

「オンライン座学」+「現場実技」の構成で、全国どこでも均質な教育を提供。
企業の拠点や日程に合わせて柔軟に対応可能です。



強固な組織基盤

株式会社ダイヤサービスが責任を持って運営。ドローン事業での豊富な実績と信頼を基盤に、継続的かつ安定的な講習提供を実現します。



医学的エビデンス

米国救急医学会等の最新ガイドラインや統計データに基づき、医学的根拠のあるカリキュラムを常にアップデートしています。

4つの価値を「重要度」と「即効性」で分析。
特に**営業レバッジ**は、最もROIの高い最優先投資領域です。

❖ ブランド価値

「安全を重視する企業」としての信頼を獲得し、
CSR/SDGs評価を向上させます。

重要度

★★★★☆ (高)

即効性

★★☆☆☆ (中低)

▷ リスク低減

事故時の初動対応力を向上させ、損害を最小化。
炎上・賠償リスクを回避します。

重要度

★★★★☆ (高)

即効性

★★☆☆☆ (中)

★最優先投資領域

☒ 営業レバッジ

顧客提案に「安全教育標準装備」を付加価値として提示。
差別化により受注率向上に直結します。

重要度

★★★★★ (最高)

即効性

★★★★★ (最高)

⌚ コスト削減

無料受講枠を活用し、教育費・研修費を直接的に圧縮。
協賛金の一部を回収可能です。

重要度

★★☆☆☆ (中)

即効性

★★★★☆ (高)

具体的ROI | 3つの協賛プランと真の価値

数字に表れない戦略的リターン

GOLD PLAN

協賛金 : 500,000円

無料講習10名 (29,700×10)	297,000円
Webロゴ掲載(大)	30,000円
講習資料ロゴ	20,000円
プレスリリース優先	30,000円
専用ページ制作	50,000円

換算価値合計 427,000円

差額 -73,000円

SILVER PLAN

協賛金 : 300,000円

無料講習5名 (29,700×5)	148,500円
Webロゴ掲載(中)	20,000円
講習資料ロゴ	20,000円
プレスリリース	20,000円

換算価値合計 208,500円

差額 -91,500円

BRONZE PLAN

協賛金 : 100,000円

無料講習2名 (29,700×2)	59,400円
Webロゴ掲載(小)	10,000円

換算価値合計 69,400円

差額 -30,600円

Priceless Value

この差額は「損失」ではなく「無形資産」への投資



社会信用性
安全への本気度が
外部評価される



ブランド信頼性
業界リーダーの
ポジション確立



採用力強化
社会貢献企業として
人材獲得に貢献



ネットワーク
協賛企業間での
ビジネス機会創出



リスクヘッジ
事故時の「準備」
という防御力

現場の安全教育を「一部の特別な人」のものから 「業界全体の当たり前」にするために

協賛金の必要性と透明性

これまで自社負担で開発・提供してきましたが、産業の急拡大に伴い、[受講料を抑えて普及を加速させる](#)ために皆様の力を必要としています。

【協賛金の主な使途】

- ✓ **講習開発・更新**：医学的根拠に基づくカリキュラム改訂
- ✓ **講師育成**：全国で均質な指導ができるインストラクター養成
- ✓ **教材制作**：実技用ダミー人形やAEDトレーナー等の整備
- ✓ **広報活動**：「安全への意識」を高めるための啓発活動

※使途配分イメージ

開発 35%

育成 25%

教材 20%

広報 20%

目指すビジョン

私たちの目標は、ドローン事故の現場に居合わせた誰もが、[「空白の10分間」を行動に変えられる未来](#)です。

受講料が高いままでは、資金力のある一部の企業しか受講できません。
協賛パートナー制度により、中小企業や個人事業主も含めた

[産業全体の安全水準（セーフティネット）を底上げ](#)します。

共に創る未来

貴社の協賛金は、単なる資金援助ではありません。
日本の空の安全を守る「社会インフラ構築への直接投資」です。
私たちは、その投資を責任を持って現場の「被害拡大を抑える初動対応力」に変えていきます。

次の一步で、競合にない『安全の証明』を手に入れる



カテゴリーリーダーの座

安全領域での取り組みをいち早く発信することで、「安全なドローン企業」としての第一想起（トップオブマインド）を獲得できます。



先行協賛特典

広報媒体への優先的な掲載、取材への同席、貴社事例に合わせたカスタム講習枠の確保など、初期パートナー限定のメリットを提供。



枠の限定先着順

質の高い特典を提供するため、ゴールド枠等の上位プランは社数を限定しております。枠が埋まり次第、今年度の募集は終了となります。



2026年度への布石

次年度の入札要件や安全基準の厳格化を見据え、今から実績を作ることが重要です。早期導入が、来期の受注競争力を左右します。

募集期間と枠には限りがございます

先行者利益を最大化するため、お早めのご検討をお勧めします





現場で痛感した「空白」

6年前、ドローン黎明期の現場に立ち続け、私たちは危機感を抱きました。事故発生時、誰も適切な処置ができない「空白の時間」がそこにはありました。これが私たちの原点です。

01



空の安全は、命を守ること

ドローンは単なる機械ではありません。万が一の事故時に、被害拡大を抑える・重症化を防ぐ・初動対応を標準化する・説明責任を果たせる状態を増やすことは、技術以前の責務であり、私たちが果たすべき揺るぎない使命です。

[]
安全への
情熱と覚悟

—
共に創る



安全こそが最強のインフラ

たった一つの事故で信頼は崩れます。ドローンが社会に受容され、産業として大成するために、私たちは泥臭くとも、現場の安全文化という「最強のインフラ」を築き上げたいのです。

02

04

あなたと共に創る未来

この文化は、私たち一社では決して作れません。同じ志を持つ協賛パートナーの皆様と共に、業界標準となる安全体制を「共創」したいと心から願っています。

まずは30分のご説明の機会をいただけませんか？

1



30分のご説明の機会

協賛制度の詳細と
貴社にとってのメリットをご説明します。

2



合意形成・資料提供

社内決裁に必要なROI試算や
説明資料をご提供し、
稟議プロセスをサポートします。

3



契約・キックオフ

契約締結後、請求書発行。
キックオフMTGにて講習日程や
ロゴ掲載の段取りを確定します。

CONTACT US

株式会社ダイヤサービス

代表取締役 戸出 智祐

info@daiyaservice.com

043-310-3454



Web問い合わせ

Fly safe, fly DAIYASERVICE

